

令和2年度 市政アンケート調査 第3回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の男女624人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 :令和2年4月15日から令和3年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 郵送または電子メール
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第3回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和2年8月25日から9月9日まで
- (2) 調査対象者数
- 621人
- (3) 回答者数
- 540人
- (4) 有効回答率
- 87.0%
- (5) 調査テーマ
- ①「道路整備」について
 - ②「自転車損害賠償保険等への加入状況」について
 - ③「福岡市の国際化」について
 - ④「ふくおかさん家のうまかもん」について
 - ⑤「博多湾の海底ごみ」について

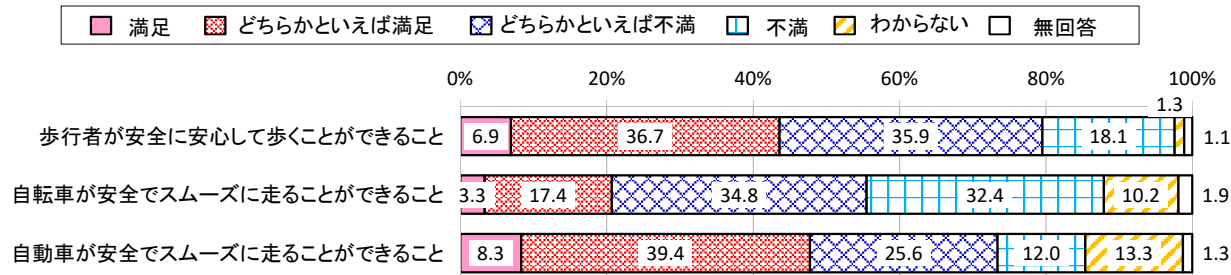
3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「道路整備」について(N=540)

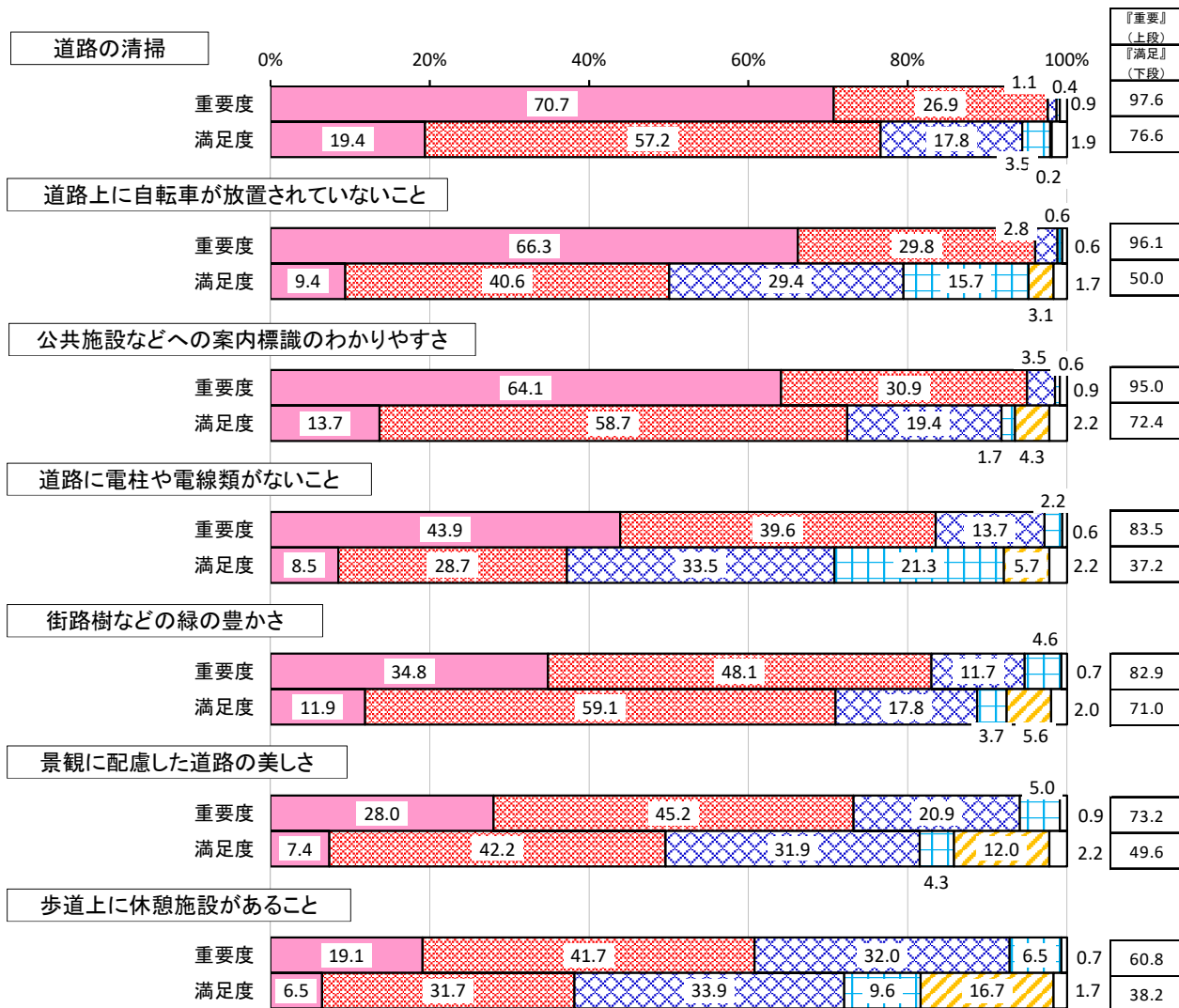
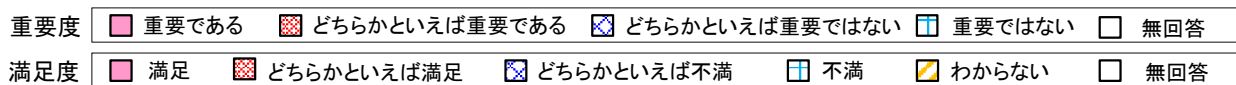
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの例:『満足』=「満足」+「どちらかといえば満足」

《道路の安全性や走行性について》



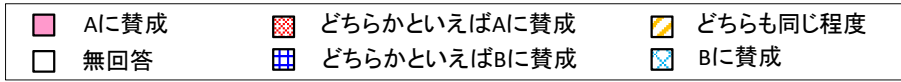
「歩行者が安全に安心して歩けること」に『満足』と回答した方は、全体の43.6%でした。

《道路の快適性や利便性について》



重要度について『重要』と回答した方は、「道路の清掃」で97.6%、「道路上に自転車が放置されていないこと」で96.1%でした。満足度について『満足』と回答した方は、「道路の清掃」で76.6%、「公共施設などへの案内標識のわかりやすさ」で72.4%となりました。

《道路の整備・維持管理の考え方》



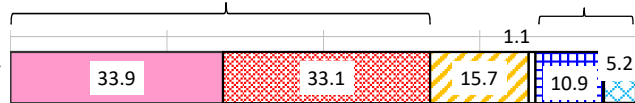
【A】

『Aに賛成』

『Bに賛成』

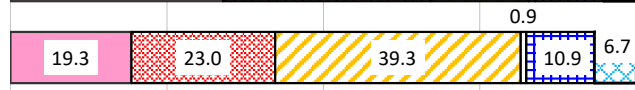
【B】

交通量の大小や渋滞の有無などに応じて、特定地域を集中的に整備する



交通量の大小や渋滞の有無に関わらず、各地域を均等に整備する

バスの利便性を優先して整備する



マイカーの利便性を優先して整備する

歩行者の利便性を優先して整備する



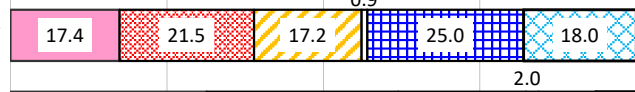
自動車の利便性を優先して整備する

通学路を優先して歩道を整備する



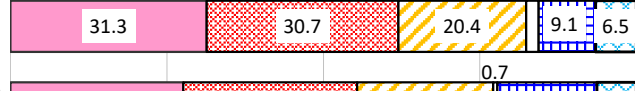
通学路指定の有無によらず、歩行者量が多い箇所から優先して歩道を整備する

現在の車道上に、自転車通行空間を整備する



現在の歩道上に、自転車通行空間を整備する

自転車通行空間を優先して整備する



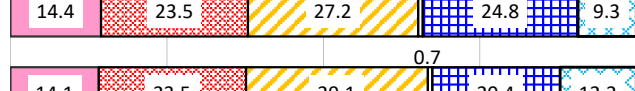
緑地空間(植栽帯など)を優先して整備する

材質やデザインにできるだけ費用をかけないで、機能を重視した道路整備をする



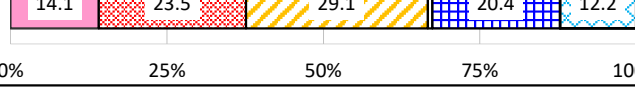
材質やデザインに少し費用をかけて、景観や歴史に配慮した道路整備をする

今ある道路の維持補修を優先的に進める



道路の拡幅や新しい道路の整備を優先的に進める

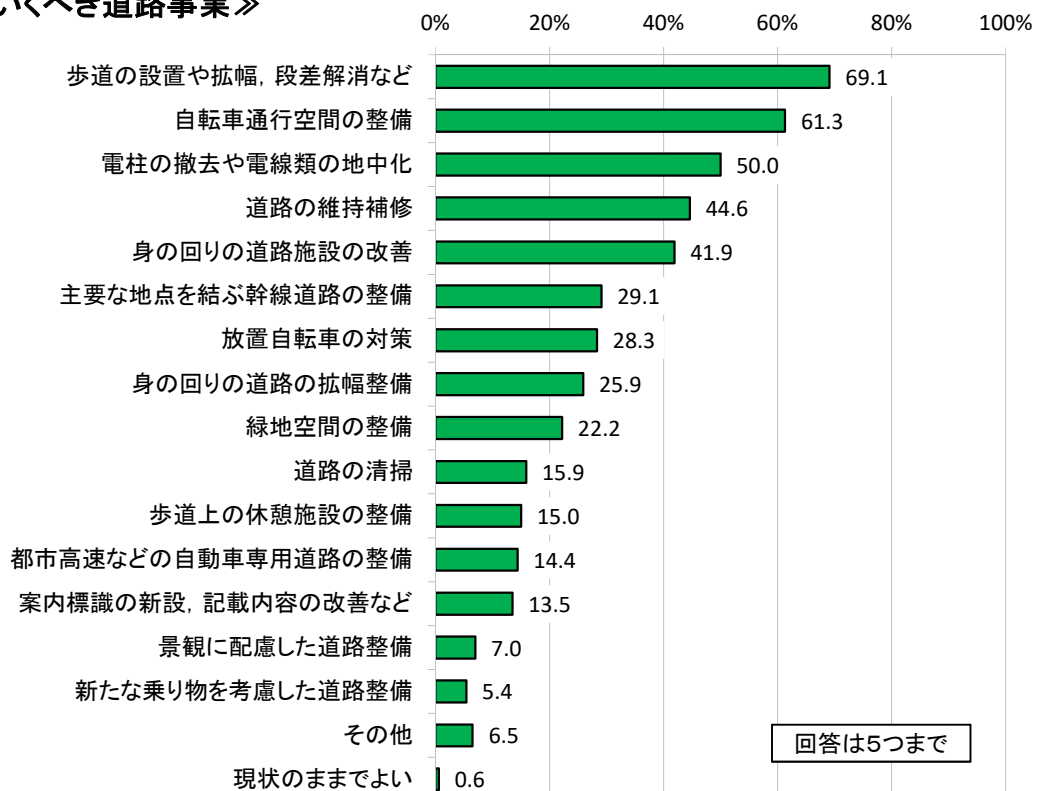
道路の清掃や花壇の管理など、簡単なものは住民が行う



道路の維持管理はすべて行政が行う

「交通量の大小や渋滞の有無などに関わらず、各地域を均等に整備する」(16.1%)よりも「交通量の大小や渋滞の有無などに応じて、特定地域を集中的に整備する」(67.0%)に『賛成』との回答が50.9ポイント高くなっています。

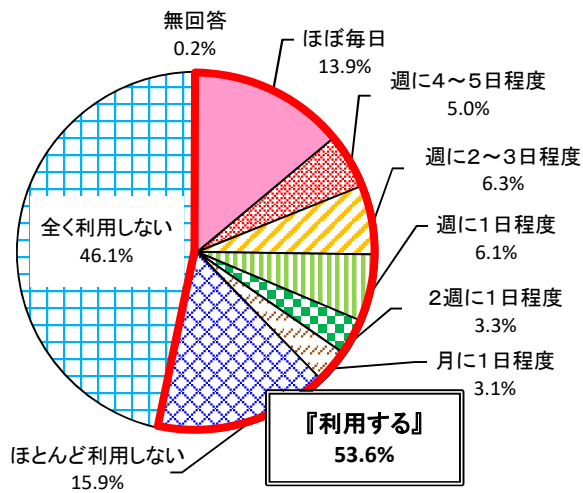
《力を入れていくべき道路事業》



回答は5つまで

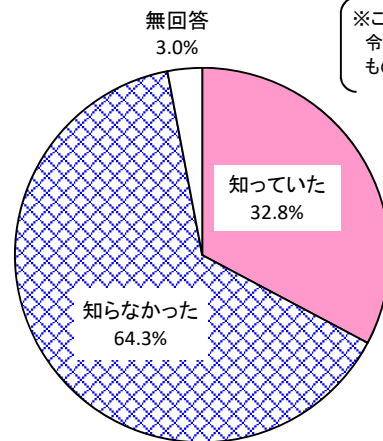
②「自転車損害賠償保険等への加入状況」について(N=540)

《自転車の利用頻度》



全体の約半数以上の方が自転車を利用していることがわかりました。

《自転車損害賠償保険等への加入義務付けの認知度》

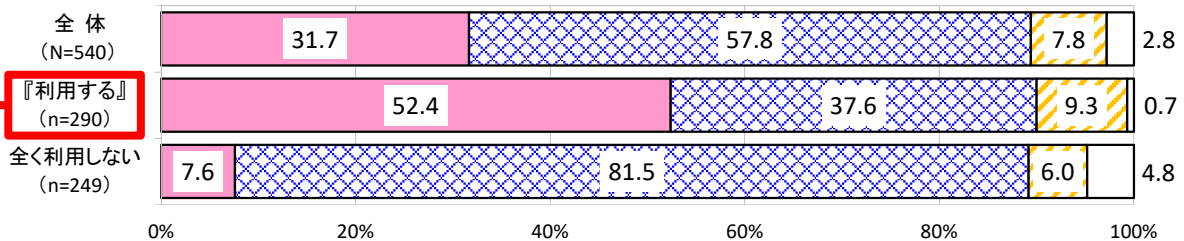


※令和2年10月1日「福岡市自転車の安全利用に関する条例」一部改正により、自転車損害賠償保険等への加入が義務付けられました。

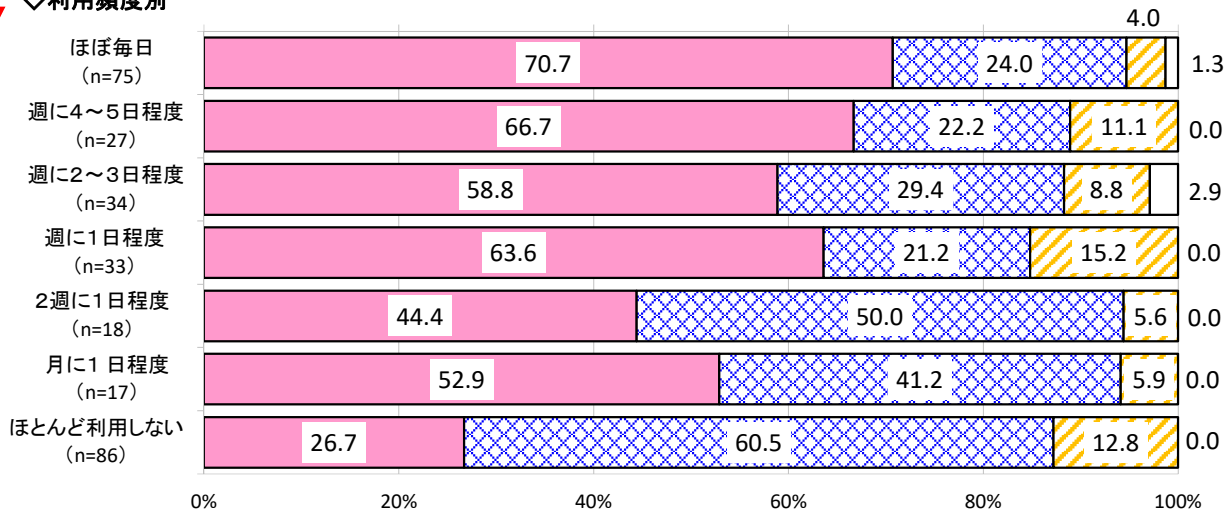
《自転車損害賠償保険等の加入状況》

■ 加入している ■ 加入していない ■ 加入しているかわからない □ 無回答

◆自転車利用有無別

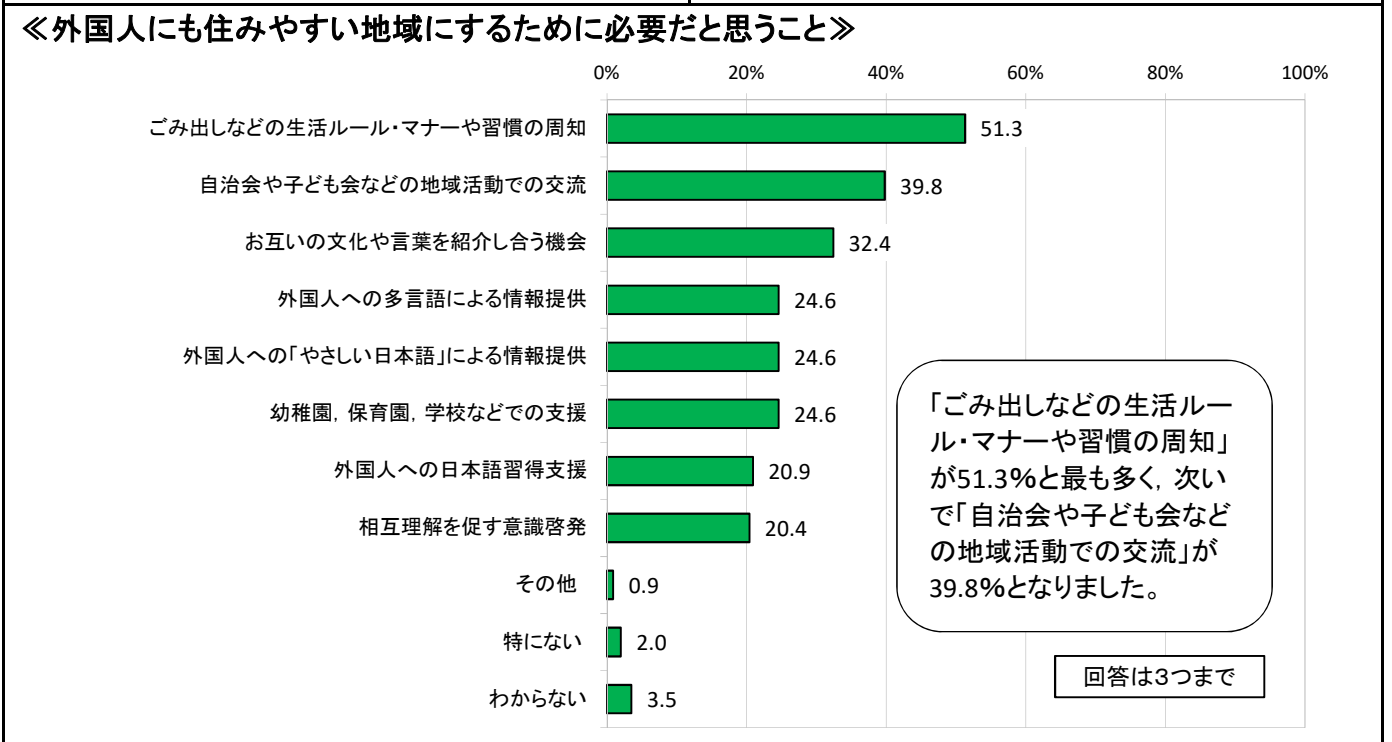
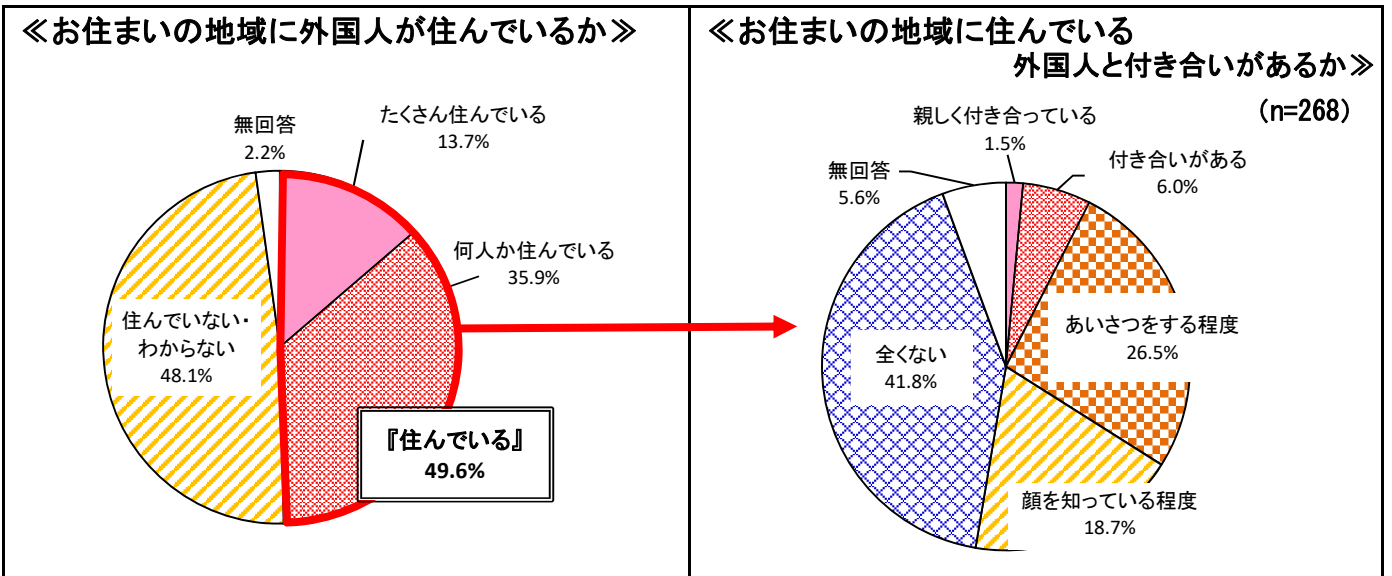


◇利用頻度別

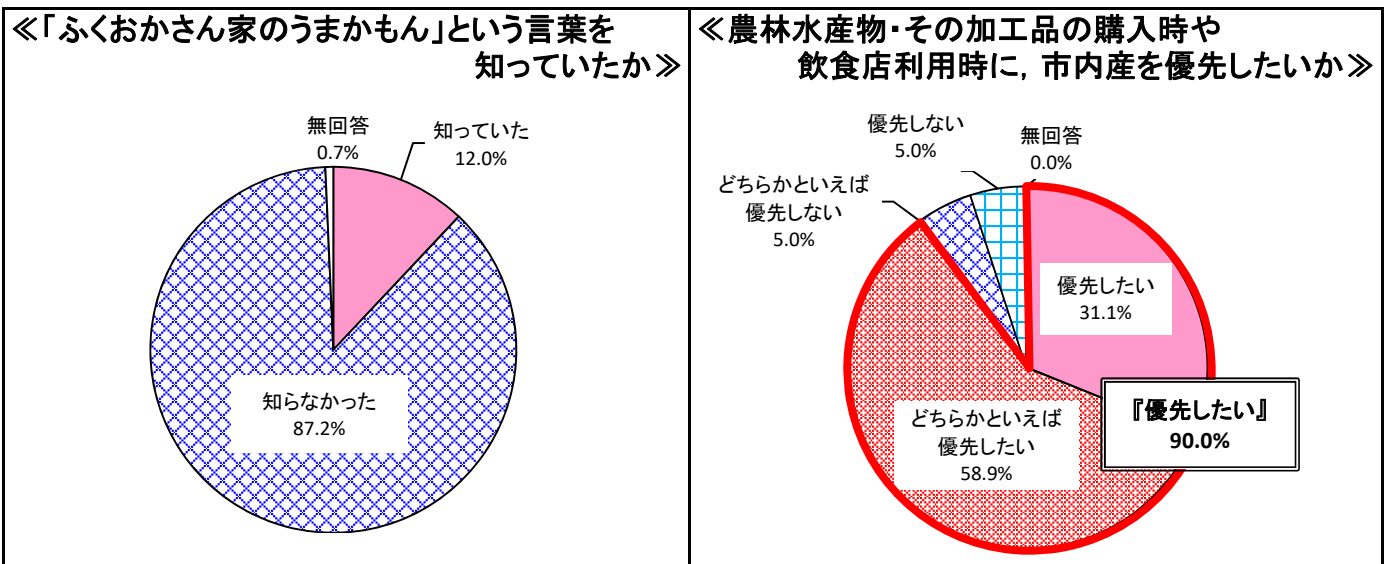


自転車利用有無別にみると、今回の加入義務付けの対象となる自転車を『利用する』方のうち、52.4%が加入していると回答しています。

③「福岡市の国際化」について(N=540)

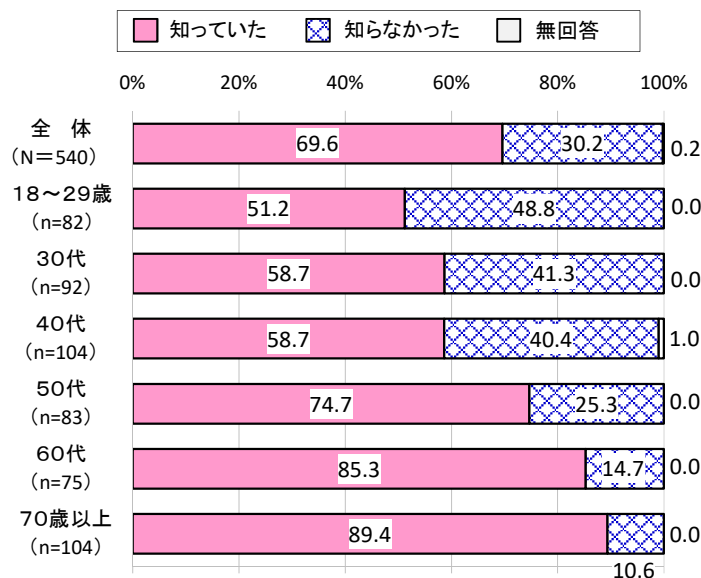


④「ふくおかさん家のうまかもん」について(N=540)



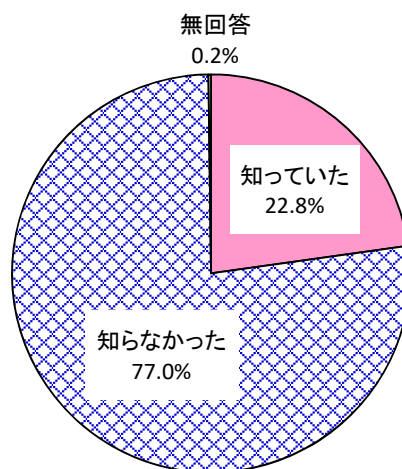
⑤「博多湾の海底ごみ」について(N=540)

《日常生活ごみが河川などを通して博多湾に流入し、海底ごみとなっていることを知っていたか》



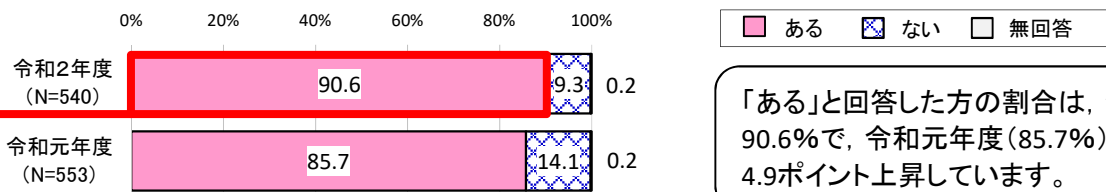
年代別にみると、年代が上がるにつれて「知っていた」と回答する方の割合が高くなっています。

《博多湾の海底ごみを漁業者が回収していることを知っていたか》



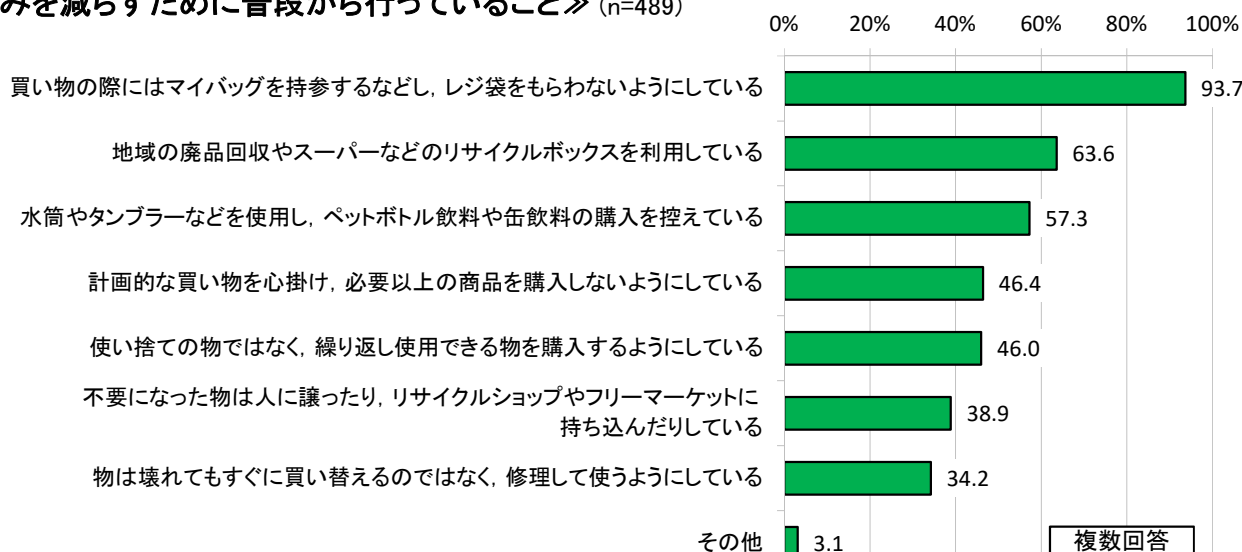
「知っていた」と回答した方は全体の22.8%となりました。

《ごみを減らすために普段から行っていることがあるか》 (過去調査との比較)



「ある」と回答した方の割合は、全体の90.6%で、令和元年度(85.7%)に比べ、4.9ポイント上昇しています。

《ごみを減らすために普段から行っていること》 (n=489)



「買い物の際にはマイバッグを持参するなどし、レジ袋をもらわないようにしている」と回答した方が93.7%と最も多く、次いで「地域の廃品回収やスーパーなどのリサイクルボックスを利用している」が63.6%となりました。